

シンガーミシン洋裁講習会の衣服雛形について —山口津留氏製作の寄贈雛形—

山本 裕香, 佐伯 智子, 横川 公子
(武庫川女子大学生生活環境学部生活環境学科)

緒 言

本稿はシンガーミシン洋裁講習会において作られた, 洋服類の雛形の内容を整理検討して, 紹介することを目的とする. この衣服雛形(以下, 雛形と称する)は明治末頃, 故山口津留氏が作製したもので, 孫に当たる山口比呂氏より武庫川女子大学に寄贈された. 雛形分析の視点は, 雛形に付随したメモ類を忠実に拾い上げ, 名称・種々の技法・ミシンを利用したデザイン上の特徴等を検討し, 特定することを試みた. これらを基礎データとし, 主に大丸ら²⁾の衣服標本カタログの分類方式を参考にしながら, 雛形を整理した. その結果, 雛形の内容の特色とともに雛形にフィットした分類の仕方についても示唆され, 資料として収蔵する際の基本的な情報が記録できたと思う. もちろん今後もさらに分析を重ねて, 資料が含む情報を豊かにしていかなばならないが, 今回は寄贈雛形の内容全体をできるだけ客観的に記録することとした. 但し, 検討のプロセスにおいて, ミシンの使用によって西洋の縫製技法が受容された様子が示唆されたことは望外の成果であった.

寄贈雛形の背景と検討の視点

山口比呂氏より寄贈された洋服類の雛形は, シンガーミシンの洋裁講習会で作られたものである. 製作者の故山口津留さん(明治8年?~昭和13年12月15日)は明治末頃, 東京でのシンガーミシン講習会を数年に亘って受講され, これらをつくられたという. ヒヤリングによると津留さんは, 新取の気性に富んだ方で, 新しい技術を求めて阪神間から東京まで出かけていったと思われる. しかし, 結果としては雛形による洋裁技術の習得が職業や事業に結び付いた訳ではなかった. 但し, シンガーミシンの講習会を同じように受けて帰り, 大阪市内でいっばしの洋装店を開いたという話³⁾もあり, この講習会自体は当時あって専門的なものであったらしい. 山口比呂氏は幼い頃, この雛形を使ってままごと遊びをしたという. また脆化して粉々になり, 虫干しのときに捨ててしまったものもあるそうだから, 津留さんの雛形は当初, 今のものより充実したものであったことはいうまでもないが, 現状でも往時の内容を彷彿とさせるだけの量と内容を備えている.

ところでこの講習会であるが, 具体的なことはよくわかっていない. シンガーミシンが米国で販路を広げていった際に, ショールームを各地で開設し, ミシンの展示と技術指導を行ったことが知られている⁴⁾が, その方式が日本化して採用されたと思われる. 日本では, 使い方の講習をするハイカラな雰囲気的女性を同道して, 訪問販売をする方式がよく見られた.⁵⁾また一方, シンガーミシン裁縫女学院が明治41年に創設され,⁶⁾裁縫教育の面からもミシンの普及が諮られたが, これはのちに文化服装学院と融合していった.⁷⁾ところで以上のようなミシンと連動した洋裁普及の側面は, 雛形自体の内容とは直接関わらな

注1 本学非常勤講師山口比呂氏の祖母にあたる.

注2 大丸弘, 国立民族学博物館研究報告別冊13, 1486(1991)

注3 大阪市在住, 松田照子の自叙伝による

注4 村瀬敦子, 19世紀アメリカにおける家庭用ミシンの装飾, 平成7年度修士論文, pp.14-18(1995)

注5 下園聡, 怒濤を越えて 国産ミシンの父山本東作の生涯, 日本ミシン工業株式会社, 東京, pp.45-47(昭和35年)

注6 秦利舞子, みしん刺繍ひとりまなび, 日本實業商會, 東京, p.1(大正元年)

注7 福本邦雄編, 服装文化のパイオニア—文化服装学院のすべて, フジインター・ナショナル・コンサルタント, 東京(1969)

いため、さらに追跡を重ね、稿を改めて取り上げることとして、前述の「シンガーミシンの講習会」は、「講習会でつくった」とするヒヤリングに基づくもので、前者のような販売方式とも後者のような洋裁教育方式とも異なる。但し、後述するようにシンガー式の裁縫教授書が出版されているため、シンガーミシンが関係する何らかの裁縫の講習や指導はあったものと思われる。

そこで本稿では、明治末頃にシンガーミシンを使用して作られた、米国風の洋服類の雛形ということに着目して、その内容を分析し記録することにした。雛形と実際に普及していた洋服類との関係や、洋裁や洋裁教育との関係は興味深い問題であり、今回参照した明治・大正期の裁縫書の内容も、そのことについて示唆するものが少なくない。しかし、それらについて問うことは、雛形自体の問題から離れるため、これも別の機会に譲り、この報告では形態・色・素材・縫製技法を中心に分類整理することにした。

寄贈雛形の検討項目

寄贈された雛形は全部で94点である。それらを上衣、下衣、ワンピース型、被物に区分し分類整理を行った。分類整理を行うにあたり、国立民族学博物館研究報告「固有属性分析による衣服標本カタログ」⁸⁾の分析項目を参照した。また本研究においては、雛形の特色に即して当時の裁縫書にあらわれた類似の衣服の名称を、個々に対応させることを試みたが、この点についてはさらに検討を要するため、今後の課題とした。なお独自に分類項目を設定したものもある。

[名称] 雛型に明記されているものを採用した(空欄は名称不明)。

[素材] 綿ローン(白色)、綿クレープ(ピンク色)、綿ネル、綿(黒色)の4種類のいずれか用いている。

[サイズ] 雛型の胴囲(当時の腹囲で、腹部の最も細い所とされていた)を測り、その値を2倍・4倍すると実際の着用時の寸法に近い数値に同定することができたため、そのことから逆に類推して、2分の1または4分の1の縮尺を決定した。今回検討した雛形は1/2と1/4のみであった。山口津留氏が実際に使っていたサイズのメモ(参考資料1)と、シンガーの裁縫書のサイズ表を参考にした。⁹⁾

[形態] 「固有属性分析による衣服標本カタログ」の分析に従って、展開衣、円筒衣、脚衣、変形衣に分類した。

[細部形態] 形態を更に細かく分類するために、実際の形態を考慮して袖、衿、パンツの有無をみた。

[着用法] 「新田中千代服飾辞典(1991)」¹⁰⁾に従い、コート・ジャケットといった外側に着用するものを外衣、ベスト・ブラウスといった上着と下着の間に着用するものを中衣とした。また、別に肌着類を分類するために內衣を設けた。

[着用者] 男または女、子供の別。

[用途] どのような場合に着用されたか(T.P.O.)を特定できる範囲で記録した。

[構成技法] いせ、ギャザー、タックなどといった構成上に必要な技法。

[造形技法] 表面的に装飾を施すフリル、ピンタック、レースなどといった技法。

[縫合技法] 袋縫い、パイピング、三つ折りなどといった縫合するための技法。

被物(かぶりもの)については、雛形資料には名称が明記されておらず、明治、大正期の洋裁関連の文献からも個々のものを特定することはできなかった。そのため、収録語意の豊富な「新田中千代服飾辞典(1991)」¹¹⁾を参考にして、形状からの分類を試みた。[形態]にハット、キャップ(ボンネット風、ベレー風を含む)、頭巾(洋風のボンネット風を含む)の別を表記した。

以上の項目を基準のデータとしてコンピューター(ファイルメーカー pro.)に入力し、多種類の分類整理を試みた。その結果雛形の特色を表わす最低限度の項目として、[名称][構成技法][造形技法][形態][着用者]をとりあげ、表示した。

注8 注2に同じ

注9 シンガー・ソーイングメシンのカンパニー、改訂ミシン裁縫全書、シンガー・ソーイングメシンのカンパニー、東京(大正15年、昭和11年改訂18版)

注10 田中千代、新田中千代服飾辞典、同文書院、(1991)

注11 田中千代、新田中千代服飾辞典、同文書院、(1991)

寄贈雛型の内容

雛型の内容を一点につき一行に並べて示した。合計 94 点あり、その内訳は男物上衣 17 点、女物上衣 10 点、男物下衣 1 点、女物 8 点、男物ワンピース型 9 点、女物ワンピース型 15 点、子供ワンピース型 1 点、被物 31 点、不明 2 点である。着用者によって分類すると男物衣服 27 点、女物衣服 33 点、子供用 1 点、不明 2 点で、被物では男物の 3 点をのぞき、すべて女物又は女児用(28 点)である。具体的な内容は巻末に一覧したとおりである。

寄贈雛型の特色

雛型の素材は綿ローン、綿クレープ、綿ネル、黒地綿の 4 種類であるが、そのうち綿ローンの生地には『日本横浜神戸 英商コンチス社 PATENT VICTORIALAWN』と押印されていた。このことから、綿ローンはイギリス又はイギリス領インドから横浜、神戸へ輸入されたヴィクトリアローンであることが分かる。また、黒地の綿の場合は繊維が脆化しボロボロになっている。この脆化は繊維が綿であることや黒色の染めであること、また明治 35 年頃には、硫化染料が使われたことが原因と思われる。硫化染料を用いて染色した際におこる脆化の問題は、明治 35 年頃から研究されており、当時の染料は輸入によるものであった。¹²⁾国内では大正 4 年になって大阪ガス会社の一部が製造実験を行い、¹³⁾その頃から国内の製造会社が続々とつくられるようになった。黒色硫化染料による脆化問題は、1956 年に至るまで研究報告があとづけられており、¹⁴⁾黒色染色の繊維の脆化は専門家の間ではよく知られたことであった。今回、黒地の素材が使われていた雛型は、すべて紳士物であり、脆化の様子からも毛織物かと思われたが、破片の光学顕微鏡観察によって、綿素材であることが判明した。また、上述のような染色の状況から、脆化は硫化染料によるものであることも明言できよう。

なお戦前期の裁縫教育においては、和裁においても雛型の製作を盛んに取り上げていた。¹⁵⁾その場合、雛型の素材には実際の衣服素材と共通か、あるいは人形用と同様の染め文様・織り模様が縮小された専用の素材を使うのが普通であった。そのため和裁様雛型では、形態のみでなく色・柄や素材感も再現されている。それに比較すると、今回取り上げた雛型は基本的には白地(生成り、但し時代を経てすべて淡いベージュ系の色合い)で、無地の平織綿織物で作製されている。男物の場合はすべて裏つきで、表が黒、裏が白地綿であった。いわゆるシーチング(洋服作りで仮縫いや芯などに用いられる粗布)が雛型用として使用されている。和服が原則的には仮縫い補正をしないで、むしろ柄合わせや丈を変化させることで造形され、色柄、素材感を雛型で捉えられるようにしてあることと比べ、洋服の場合、形態重視の見方が反映されているといえよう。

雛型では裾上げも含む、殆ど全ての縫い目にミシンを使用している。当時のミシンに関する文献^{16, 17)}によると、ミシンには縁付け具(バインダー)、普通三つ巻及び自由三つ巻、折り合わせ縫具(タッカー)、ひだ取り具(ラフラー)及び折ひだ取り具(タック)など、数種のアタッチメントがついているが、雛型を観察すると、これらが実際に使われたらしい。アタッチメントの使用によって、デザインに多くのバリエーションが生まれ、またデザイン上の洋風の特色であるピンタックやフリル、スモッキング風の加工やそれらを組み合わせた手の込んだ装飾が、可能になったと思われる。さらにレースを組み合わせて使うことに

注 12 桧山八郎, 硫化染料とその中間体, 改訂複製版, 日本化薬提供, p.9(1990)

注 13 注 12 に同じ

注 14 注 12, pp.9-17(1990)

注 15 和裁教育への雛型の導入は渡辺辰五郎がはじめた。その事情についてふれる文献は多いが、たとえば、樋口哲子の「わが国における被服教育発展の様相(2)明治期の裁縫教授法 2」(家政学雑誌, pp.23-2, 昭和 42 年)があげられる。

注 16 泰利舞子, みしん裁縫ひとりまなび, シンガーミシン裁縫女学院実業部, 東京, pp.29-45(明治 42 年)

注 17 シンガー・ソーイングメシンのカムパニー, 改訂ミシン裁縫全書, シンガー・ソーイングメシンのカムパニー, 東京(大正 15 年, 昭和 11 年改訂 18 版)

よって、多彩な洋風の装飾効果が高められている。このようなミシンを駆使した装飾は、和裁には見られない洋裁独自のものである。なお装飾的な箇所だけでなく、いせを施した袖付けや切り替えの位置のタック、ダーツ(今回の資料には含まれなかった)は、和裁にはない洋裁独自の技法である。

袖山のいせの判定は、地の目の変化や糸密度の細密化・いせ部分の厚さを観察することで可能であると考えられるが、年月を経た資料を判定することが困難であったため、範例としての復元を試みることによって、判断の基準を立てた。復元の際には、「ラッパー」と付記された型紙が残されていたワンピース型(一覧中のワンピース型 58)のものを取り上げ、技法・ミシン目の大きさ・地の目の方向など、雛型を解体して確かめながら、復元を試みた。その結果、袖山と袖付けのサイズに明らかに差がある形の二枚袖のタイプのもの(殆どが二枚袖)には、いせの技法が使われていると判断した。

31点の被物は形態は同じでも、フリルやレース、タック、リボンを施して少しずつ変化をつけ、装飾に富んでいる。また、キャップに紐をつけたようなボンネット風のもの(被物 90, 91, 92, 93, 98)、頭巾にひだレースを施したボンネット風のもの(被物 94, 95, 100)というように、2種類の形を組合せたデザインのものが見られる。このように、どちらともとれる形態は、現代の被物の分類にあてはめることが難しい。しかし、明治、大正の裁縫書には、このような形態のものが多く紹介されており、雛形に対応させることができる。被物の図像が示されたものを裁縫書から抽出して分類の参考にした(表1)。

デザイン上の形態の特色については今回は検討していないが、名称・構成技法・造形技法をみると、和服と和裁ではなく洋服と洋裁の特色が指摘される結果となった。今後は、さらに復元作業を拡大してパターン(型紙)の検討をすることにより、展開衣・円筒衣などの大まかな様式だけでなく、衣服形態のデザインの特色や技法の詳細に関する有益な情報が得られると考える。

参考資料

参考資料1 山口津留氏が使用していたサイズ表のメモ

年齢	身長	胸囲	腹囲	股上	股下	尻囲	袖丈	膝	頸囲	備考
1.4ヶ月	31 1/2	23 3/4	21 1/4	7 1/2	5	23	8	7 1/2	9 3/4	1年4ヶ月肥へたる児童
3歳	35	21	21 1/2	8	8	21 1/2	10	8		普通児童
6歳	44	23	23	8	10	24	13	9	11	肥へたる児童
7歳	46	24	22	8	12	24	13	9	12	普通児童
8歳	48	23	21	8	13	25	14	9	12	
10歳	49	24	20	9	13	25	15	9 1/2	11	痩せたる児童
11歳	50	27	26	10	14	27	17	10	12 1/2	普通

寸法の取り方

胸囲:胸部ノ最モ太キ所

腹囲:腹部ノ最モ細キ所

尻囲:臀部ノ最モ太キ所

袖丈:脇下(腕ノ付根)ヨリ手首マデ

袖口:手首ノ太サニ半吋ヲ加ヘタルモノ

頸囲:頸ノ付根ヲ図ル

袖付:肩ヨリ脇下ノ周囲ヲ計リ之ニ二、三吋ヲ加フ

身丈:衣服ノ種類ト流行トニ依リテ異ナレドモ上下続キタルモノハ

身長ノ八分ノ五内外、上着ノ丈ハ身長ノ二分ノ一内外、ズボン

ノ丈ハ股上ハ身長ノ八分ノ一ニ一、二吋ヲ加ヘ股下ハ(半

ズボンナルガ故ニ)身長ノ四分ノ一位トス

Table 1. Head wear's name in the sewing books

名称	出典
帽子	男女服装西洋裁縫指南／正木安／明治 20 年
雪帽子 日除帽子 船底帽子 大黒頭巾 宗十郎頭巾 早通頭	裁縫教科書二之巻／渡邊辰五郎／東京裁縫女学校／明治 30 年
夏帽子 ボンネット	裁縫秘術総要／小出新次郎／女子裁縫高等学院出版部／明治 39 年
西洋頭巾 西洋日除頭巾 看護婦帽子 教員帽子 生徒帽子 防寒帽子 ドンタク帽子 耳おほい帽子 鳥打帽子	最新式改良服裁縫の栞(初編)図編／柏原文堂・赤志忠雅堂／明治 41 年
小児夏帽子 女児夏帽子 小児冬帽子 女児冬帽子	みしん裁縫ひとりまなび／秦利舞子／シンガーミシン裁縫女学院実業部／明治 42 年
達磨頭巾 京型頭巾 角取頭巾 山岡頭巾 雀形山岡頭巾 ベビーズキン プレーキャップ ゴードキャップ	絹綿布羅紗物帝国裁縫大圖解／岩村秀太郎／女学者／大正 5 年
大黒頭巾 雪帽子 夏帽子	高等小学裁縫教科書一二学年用／文部省／國定教科書共同販売所／大正 5 年
嬰兒用帽子 幼児用帽子 女児の帽子	誰にもできる應用自在洋服の裁縫／加藤さたよ／表現社／大正 13 年
嬰兒用帽子 4, 5 歳用帽子 六はぎの帽子	中等教育裁縫教科書Ⅲ／成田順／大成書院／大正 15 年, 昭和 3 年再版

寄贈雑形一覧

区分	名称	構成技法	造形技法	形態	着用者
上衣 1	イトンジャケット	いせ,	カフス, ペブラム	展開衣	男
上衣 2	カッターウェーフロックコート	ウエスト切替え, いせ, ウェスト・ギャザー	背部中心でひだ	展開衣	男
上衣 3	一重胸外套	いせ	カフス	展開衣	男
上衣 4	一重胸ジャケット	プリンセスライン背部切替え, いせ	前打ち合わせ比翼, ポケットのしるし	展開衣	男
上衣 5	二重胸外套	いせ,		展開衣	男
上衣 6	二重胸ジャケット	いせ, 背部プリンセス切替え	カフス, ペブラム	展開衣	男
上衣 7	二重胸ジャケット	いせ, 背部プリンセスライン切替え		展開衣	男
上衣 8	二重胸背広	いせ	ポケット	展開衣	男
上衣 9	フルドレスコート	いせ, ウェスト切替え	背部中心でひだ, 前打ち合わせ, 袖口, 背部センターにボタン	展開衣	男
上衣 10		いせ	ポケット	展開衣	男
上衣 11		いせ	ポケット	展開衣	男
上衣 12			ポケット, 背部ベルト	展開衣	男
上衣 13			ポケット, 背部ベルト	展開衣	男
上衣 14			ポケット, 背部ベルト	展開衣	男
上衣 15		背部ベルト, ポケット		展開衣	男
上衣 16		いせ	ポケット	展開衣	男
上衣 17		いせ, 背部プリンセス	ポケット	展開衣	男
上衣 20	コーセットカバー	首ぐり, ウェスト部ギャザー	首ぐり, 袖ぐりに2種類のレース, ウェストまわりに1種類のレース, レースの間に緑色の紐	円筒衣	女
上衣 21	コーセットカバー	ウェスト部ギャザー	前身頃ピンタック3本づつ6ヶ所, 首ぐり, 袖ぐり, ウェスト部に2種類のレース, レースの間に紐, 肩紐レース	展開衣	女
上衣 22	ジャートウエスト	いせ, 袖口, 前ウエスト部ギャザー	前身頃タック6本, 後ろ身頃タック3本	展開衣	女
上衣 23	女子海水浴衣	いせ, 袖口, 前ウエスト部ギャザー	前立て, 背部裾にひだ(別布縫つけ), セーラーカラーにステッチ3本	展開衣	女
上衣 24	ドレッシングサック	いせ, 袖口, 前ウエスト部ギャザー	カフス(レース使い1種類), 衿縁に2種類のレース, 後ろ脇両端からピンク色紐, 前身頃タック2本, 後ろ身頃タック3本	展開衣	女
上衣 25	ドレッシングサック	いせ, 背部切替え	首ぐり, 袖ぐり, 前立て, 裾に2種類のレース, 前胸部あたりレース縫つけ, 首ぐりレースの間にピンク色の紐	展開衣	女
上衣 26		袖口, 前ウエスト部ギャザー	カフス, 前身頃タック6本, 後ろ身頃タック6本	展開衣	女
上衣 27		いせ, 袖口, ウェスト部ギャザー	カフス, 前立て, 衿先に地布でリボン, セーラーカラーにステッチ3本	展開衣	女
上衣 28		いせ, 袖口ギャザー	前立て, 袖口, 衿, 前立てに1種類のレース	展開衣	女
上衣 29		袖口ギャザー	前展きから裾にかけて, 衿にフリル	展開衣	女
上衣 30		切替えに特色あり, 留め具(ボタン, ひも)		変形衣	
上衣 31		切替えに特色あり, 留め具(ボタン, ひも)		変形衣	
下衣 80			後部ベルト, ポケット	脚衣	男
下衣 70	女子海水浴衣スカート	ウェスト部ギャザー		脚衣	女
下衣 71	スリーゴードコスティユームスカート	パッスルスタイル(ひだ)	側面から後ろにかけてレース	腰衣	女
下衣 72	ドロウアース	ウェスト部ギャザー	裾フリル, フリル下位にピンタック3本, 後ろウェストに紐	脚衣	女

シンガーミシン洋裁講習会の雛形について

下衣 73	バビットバックスカート			腰衣	女
下衣 74	フワイゴアードスカート	バッシルスタイル(ひだ)	裾に1種類のレース	腰衣	女
下衣 75	フワイゴアードスカート, ウイズフラウンス	ウエストギャザー	裾切替え, 切替え部に1種類のレース	腰衣	女
下衣 76	ベティコート	ウエスト部ギャザー	裾フリル, フリル下位にピンタック2本, ウエスト紐つき	腰衣	女
下衣 77		ブリーツ		腰衣	女
ワンピース型 40	手術衣	いせ, 背部切替え	ポケット	展開衣	男
ワンピース型 41	ダブルブレストッドフロックコート	いせ, ウエスト切替え, 後ろウエスト部ギャザー	背部中心ひだ	展開衣	男
ワンピース型 42	男子海水衣			展開衣	男
ワンピース型 43	男子寝衣	いせ,	ポケット, ウエスト部ベルト	展開衣	男
ワンピース型 44	一重胸外套	いせ, プリンセスライン切替え	カフス	展開衣	男
ワンピース型 45	ボックスオーバーコート	いせ, 前打ち合わせが比翼, 背部切替え	ポケット	展開衣	男
ワンピース型 46		いせ,	背部中心ひだ, ベルト	展開衣	男
ワンピース型 47			前打ち合わせ比翼, ケープ	展開衣	男
ワンピース型 48		ケープ	ポケット	展開衣	男
ワンピース型 50	嬰兒服	いせ, パストライン切替え, 袖口, 胸部ギャザー	前胸部タック3本づつ4ヶ所, 背部両タック2本づつ1ヶ所, 間にタック3本づつ4ヶ所, 袖ぐり, 衿ぐり, 胸部(前後)に2種類のレース, 衿ぐりレースの間に紐	円筒衣	
ワンピース型 51	ガウン	いせ, 衿ぐりギャザー	首ぐり, 袖に2種類のレース, 首ぐりレースの間に紐, 袖の腕部に切れ目, 袖切れ目にリボン	円筒衣	女
ワンピース型 52	ガウン	いせ,	衿ぐり, 袖ぐりに2種類のレース, 衿ぐり, 袖ぐりのレースの間に紐	円筒衣	女
ワンピース型 53	看護服	袖山, ウエストギャザー		円筒衣	女
ワンピース型 54	シミズ		衿ぐり, 袖ぐりに縁つけ	円筒衣	女
ワンピース型 55	シュミゼット	胸部ギャザー	裾フリル(断ち切り模様), 胸部, 袖ぐり, 衿ぐりに1種類のレース	円筒衣	女
ワンピース型 56	女子寝衣	袖山, 袖口ギャザー	衿縁, 袖口に1種類のレース, 手首部に紐でリボン, ウエスト部にベルト	円筒衣	女
ワンピース型 57	ラッパー	袖山, パストライン, ウエストギャザー	胸部, ウエスト部, 袖口に1種類のレース, 胸部, ウエスト部のレースの間に紐, 裾切替えてフリル, 切替え部にテープ	円筒衣	女
ワンピース型 58	ラッパー	いせ, 袖口, ウエスト部ギャザー, 前, 後ヨーク背部中心切替え	衿縁に1種類のレース	円筒衣	女
ワンピース型 59		前身頃, ウエストライン切替え,	袖ぐり縁つけ, ウエスト部タック	円筒衣	女
ワンピース型 60		いせ, アシンメトリー	ウエスト部ベルト	円筒衣	女
ワンピース型 61		ヨーク, ウエスト切替え, 袖山, ウエスト, ヨークギャザー,		円筒衣	女
ワンピース型 62			衿ぐり, 袖ぐりに2種類のレース, 肩に飾り紐	円筒衣	女
ワンピース型 63		袖山, 袖口ギャザー		円筒衣	女
ワンピース型 64		袖山, 袖口ギャザー	カフス, ケープ	展開衣	女
ワンピース型 65		袖山, 袖口ギャザー		展開衣	女
被物 80			レース, フリル, リボン	ハット	女
被物 81			フリル, リボン	ハット	女
被物 82			フリル, ブリーツ上のテープ	ハット	女
被物 83			タック, カットレース	ハット	女
被物 84			レース2種類, ピンタック,	ハット	女
被物 85			フリル, シャーリング, ピンタック	ハット	女
被物 86			レース1種類, ピンタック, フリル	ハット	女
被物 87			タック, レース, カットレース	ハット	女

被物 88		フリル, シャーリング(スモッキング風)	ハット	女
被物 89		ピンタック, フリル	ハット	女
被物 103		リボン, 縁つけ	ハット	男
被物 104			ハット	男
被物 110	六つ接ぎ		ハット	男
被物 96		つば, レース1種類	キャップ	女
被物 97	裾ギャザー	レース1種類, ピンタック	キャップ	女
被物 99		レース1種類	キャップ	女
被物 101		折返し部に飾りステッチ	キャップ	女
被物 102		レース1種類	キャップ	女
被物 90	頭上部ギャザー	ひだ	キャップ(ボンネット風)	女
被物 91	頭上部ギャザー	ひだ	キャップ(ボンネット風)	女
被物 92	頭上部ギャザー	ひだ, 折り返し	キャップ(ボンネット風)	女
被物 93	頭囲ギャザー	リボン	キャップ(ボンネット風)	女
被物 98		レース2種類, ギャザー, リボン	キャップ(ボンネット風)	女
被物 107	頭上部ギャザー	ボンボン, レース	キャップ(ベレー風)	
被物 108	頭上部ギャザー	ボンボン, レース1種類	キャップ(ベレー風)	
被物 109	頭上部ギャザー	ボンボン	キャップ(ベレー風)	
被物 105			頭巾	
被物 106		裾ひだ	頭巾	
被物 94		裾ひだ, レース2種類	頭巾(ボンネット風)	女
被物 95		裾ひだ, レース1種類	頭巾(ボンネット風)	女
被物 100		つば, 裾ひだ, レース1種類	頭巾(ボンネット風)	女

謝 辞

本研究で検討した雛形資料は、本学生活環境学科非常勤講師、山口比呂氏より寄贈された。その際、検討の機会と便宜をはかって下さった、同学科小島洋司教授、硫化染料に関する資料をご教示下さった同甫天正靖教授、また1996年3月まで同助手であった西川華代子さんには、雛形の写真撮影からカード作り、復元におよぶまで、全面的なご協力をいただいた。なお、文化女子大学図書館と東京農工大学工学部附属繊維博物館資料室には引用文献に上げたものだけでなく、明治・大正・昭和戦前期にわたる貴重な裁縫書や裁縫・被服教育やミシンに関する膨大な資料を閲覧・利用させていただいた。ここに記して感謝の意を表したい。

参考文献

シンガー・ソーイングメシンのカンパニー, 改訂ミシン裁縫全書, シンガー・ソーイングメシンのカンパニー, 東京, p.p.416-417(大正15年, 昭和11年改訂18版)